

2024年12月26日

各位

Global X Japan 株式会社

新 NISA でオール・カンントリーや S&P500 で投資デビューした人に！
2025 年、“次に”投資すべき投資先とは？
～個人投資家のステップアップに適した投資信託～

日本で唯一の ETF 専門資産運用会社^{*}の Global X Japan は、設立後約 5 年間で特長ある ETF を東京証券取引所に 49 本上場させ、また運用資産残高が 4,000 億円を突破するなど急成長を遂げています。

今回は当社の ETF を、ETF としてだけでなく、「投資信託」として購入できる仕組み作りの紹介をいたします。

※自社調べ（2024 年 12 月時点、日本国内で ETF のみを取り扱う資産運用会社）

2024 年は新 NISA（少額投資非課税制度）がスタートし、日本でも個人投資家の投資熱が高まりを見せた 1 年でした。新 NISA を機に投資を開始した投資初心者は、オール・カンントリーや S&P500 など、幅広く分散投資ができる投資信託の積立投資からスタートするケースが多いと思います。一方で投資デビューから時間が経過し、少し慣れてきた投資初心者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

では、そこからもう一段ステップアップするためには、どのような投資行動を取ればよいのでしょうか。本レターでは、投資初心者がステップアップする上でおすすめの投資信託や、その活用方法について解説します。

<話し手> 左から

大和アセットマネジメント株式会社

金融法人第四部長 松葉 恭明

Global X Japan 株式会社

マーケティング部長 長谷川 誠



投資初心者を阻む壁とは？

個人投資家のステップアップに適した投資信託

一新 NISA を機に、オール・カンントリーや S&P500 といった投資信託の積立投資を始めた個人投資家が多いようです。投資初心者が次のステージにステップアップするには、どうすれば良いのでしょうか？

長谷川：

投資初心者が一歩進んだ資産運用をしたいと考えたときにおすすめなのが、ETF（Exchange Traded Funds）、上場投資信託です。ETF は投資信託を取引所に上場させることで、取引における利便性を高めたものです。プロの運用者による分散投資でリスクを抑えながら、それでいて株式と同じように市場で取引ができるため、金融商品における「20 世紀最大の発明」とも言われています。

松葉：

しかし投資初心者が ETF に投資をするには、いくつかの障壁があります。一つは「成行（なりゆき）注文」や「指値（さしね）注文」といった注文を、株式同様ご自身でしていただく必要があることです。



そしてもう一つは、銘柄ごとに売買単位が決まっていることです。東京証券取引所に上場している ETF の売買単位は、1 口、10 口、100 口、1,000 口の 4 種類で、1 口あたりの価格は株価と同じように刻一刻と変動します。つまり仕組み上、「毎月 1 万円投資したい」といった積み立て投資ニーズには応えることができません。

このような投資初心者がぶつかる壁を解消したいと、大和アセットマネジメントでは新しい投資信託を開発しました。Global X の ETF を投資信託という形にパッケージ化してお届けする「[一歩先いくシリーズ](#)」です。ETF を投資信託化することで、毎営業日計算・公表される基準価額で取引ができ、尚且つ積み立て購入をすることもできます。

—投資初心者がETFに投資する際の障壁を解消すべく、生まれた商品ということですね。

長谷川：

当社では、投資初心者が一歩進んだ運用ができるよう、これまでも幅広い種類のETFを取り扱ってきました。実際に新NISAを機に、個人投資家からの当社ETFへの資金流入は以前の約4.5倍と大幅に伸びています。しかし投資初心者からすると、ETFの便利さがオーバースペックに捉えられてしまう側面もあります。投信信託の「1日1回計算される基準価額で買って、毎月定額で積み立てる」というシンプルさを好む方や、クレジットカードで積み立ててポイント獲得を狙う方も多くいます。

そこでグループ企業である大和アセットマネジメントの商品組成力で、ETFを投資信託化したものが「[一歩先いくシリーズ](#)」です。ETFを投資信託にすることで、投資初心者に対して、より投資のステップアップをして欲しいという想いから生まれた商品です。

アメリカの大型テクノロジー関連銘柄や、インドの成長企業……。

集中投資で、資産運用を一歩先へ

—「一歩先いくシリーズ」には、どのような投資信託がありますか。

松葉：

2024年12月26日現在、「一歩先いくシリーズ」には4本の投資信託があります。中身はいずれもGlobal X Japan、もしくは米国のGlobal XのETFに基本的に100%投資をする投資信託です。

(1) [一歩先いく US テック・トップ 20 インデックス](#)

一歩先いくシリーズの中で一番の人気商品です。NASDAQに上場しているテクノロジー関連銘柄のうち、GoogleやAmazon、Apple、NVIDIAといった米国を代表する20銘柄に、「グローバルX US テック・トップ 20 ETF【2244】」を通じて投資します。

当ファンドが連動を目指している「FactSet US Tech Top20 指数（配当込み、円ベース）」は、算出来の7年半で、7.8倍まで上昇しています。テック企業に集中投資できる投資

信託は昨今人気を集めており、本投資信託もリリース以来、予想を超える反響をいただいています。

(2) 一步先いく グローバル・イノベーション企業インデックス

テック企業に限らず、グローバルでイノベーションを牽引する企業に、「グローバルX 革新的優良企業 ETF【178A】」を通じて投資する商品です。具体的には「AI/ビッグデータ」「半導体」「ヘルスケア/バイオテクノロジー」「次世代モビリティ/バッテリー/再生可能エネルギー」の4分野で、時価総額の大きい代表的な銘柄に投資をすることができます。

アメリカに限らず、世界のイノベーションを牽引するテーマと、そこに深く関係した企業に集中投資できるのが特徴です。

(3) 一步先いく NASDAQ-100 毎月カバコ戦略 (QYLD)

カバコ戦略とは、「カバード・コール戦略」の略です。株や債券といった原資産を保有しつつ、コールオプション（事前に定められた期日に、定められた価格で買う権利）を売ります。これによって、将来の値上がり益を放棄する代わりに、オプションプレミアムが得られるという戦略です。

こちらは米国のGlobal XのETF、Global X NASDAQ 100・カバード・コールETF、ティッカー【QYLD】に投資をする商品で、内容的にはやや上級者向きです。しかし米国では個人投資家が積極的にETFに投資しており、QYLDはファンドの総資産総額が1兆2,000億円にのぼるほど（2024年12月26日現在）人気を集めています。毎月分配型で、分配金が年率約10%入ってくる^{*}というかなり魅力的なファンドです。ただしNISA対象外です。

^{*}投資対象ETFのQYLDは毎月分配を9年以上継続しており、12か月ポートフォリオ利回りは12.05%（税引前）です。分配金は収益分配投信に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合があります。

長谷川：

マーケットが右肩上がりであれば、成長テーマに投資をすればいいのですが、株価調整が入る局面もあります。QYLDは仮に株価が下がっても、一定のところまでは損失が発生しないので、多少の調整であればポートフォリオは大きく傷みません。つまり、このような性質を持つ商品の一部組み込んでおくと、マーケットが下がってきた時に、保有商品が全て下がってしま

う状況を回避できます。投資初心者がトライするには難しい商品ではありますが、ポートフォリオに組み込むと妙味のある商品と捉え、一歩先いくシリーズとしてお届けしています。

(4) 一歩先いく 華麗なるインド・トップ 10+インデックス

松葉：

12月18日に新しくリリースしたのが、インドの成長企業に集中投資をする投資信託です。インド株式市場の各セクターにおいて代表的な銘柄に投資をする「グローバルX インド・トップ 10+ ETF【188A】」に投資をします。

インドを代表する株価指数に Nifty50 があります。大和アセットマネジメントでは、23年3月に Nifty50 に連動するファンドを日本で初めて出したところ、かなりの資金流入がありました。その後、他社さんからも続々とインド関連の投資信託やアクティブファンドがリリースされており、日本では今、インド株ブームが到来しています。そこで今回、一歩先いくシリーズからもインド株の新しいインデックスファンドをリリースしました。

—投資初心者はこれらをどのように活用すればいいか、イメージを教えてください。

松葉：

投資にある程度慣れてきた方は、少しエッジの効いたものに投資したいと考えるケースが多いです。そこでオール・カンントリーや S&P500 といった投資信託と併用して、毎月の投資資金の一部を一歩先いくシリーズのような集中投資型の投資信託に回していただくと、リスク・リターン特性が改善する傾向があります。

現在は同シリーズから4本リリースしているので、ご自身が可能性を感じるものを選定いただけますと幸いです。

長谷川：

投資初心者だけではなく、中上級者のポートフォリオでも活用いただけます。例えば毎月の積立投資は一歩先いくシリーズで、相場を見ながらの投資は個別株やETFといった具合に、目的に応じて使い分けていただくのもおすすめです。



まずは相場に居続ける。

積立投資で、コアとなる資産の形成を

—最後に、投資初心者がステップアップするうえでのポイントと、個人投資家へのメッセージをお願いします。

松葉：

マーケットは上がったたり下がったり、日々刻々と変化します。急落すると怖くなって投資をやめてしまう方もいらっしゃると思いますが、投資は時間を味方につける、「相場に居続ける」ことが大切です。

最近証券各社の積立投資システムも、より便利に進化しています。株式市場の変動に臆することなく、毎月決まった日に決まった額を投資する積立投資は、個人投資家が投資を継続する上で理に適ったシステムです。

今後も個人投資家の皆さまに魅力的な投資信託を展開していきますので、ぜひ積立投資を継続していただければと思います。

長谷川：

2024年12月現在、Global X Japanでは49本のETFを東証に上場しています。米国のGlobal Xも含めると、150本近いラインナップを揃えています。その中でも、特に幅広い投資家の皆さまにおすすめの商品を「一歩先いくシリーズ」として展開しています。少額からでも投資可能ですので、多くの方にチャレンジしていただきたいです。

(取材・執筆／藤井恵)

【会社概要】

商号	Global X Japan 株式会社
所在地	〒100-6121 東京都千代田区永田町二丁目 11 番 1 号 山王パークタワー21 階 03-5656-5274 (代表)
事業の内容	投資運用業、投資助言・代理業
設立	2019年9月
資本金	50億円(資本準備金を含む)
株主	Global X Management Company, Inc. (50%) 大和アセットマネジメント株式会社 (40%) 株式会社大和証券グループ本社 (10%)
拠点	東京
役員	代表取締役会長 張峯碩 代表取締役社長 姜昇浩
役職員	69名
HP	https://globalxetfs.co.jp/index.html

【このニュースレターに関するお問い合わせ先】

info@globalxetfs.co.jp

Global X Japan 株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3174号
一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人投資信託協会会員

免責事項

- ・本資料は会社概要及び投資戦略等をご紹介することを目的としており、資料に含まれる商品の勧誘・販売を目的とした資料ではありません。
- ・本資料に記載されている内容、情報及びデータ等につきましては、本資料作成時点のものであり、各種要因により変動します。
- ・本資料に関する一切の権利、義務は、情報提供者に帰属し、情報提供者の事由により内容が変更・修正されることがあります。
- ・本資料の情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任のもとに行うこととし、万一本資料の情報により損失を被ったとしても、情報提供者は一切の責任を負うものではありません。
- ・本資料の著作権は、情報提供者に帰属します。

・ファンド（投資信託）のリスクについて

ETFは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

株価指数先物取引の利用に伴うリスク、株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）、リートの価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

優先証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）、公社債の価格変動、カバード・コール戦略の利用に伴うリスク、為替リスク、カントリー・リスク、その他（解約申込みに伴うリスク等）

- ※ 基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ※ 設定・交換のお申し込みにあたって、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。

・お客さまにご負担いただく費用

ETFに係る費用（金融商品取引所を通してETFに投資するお客さまの場合）（2024年12月現在）

ETFの市場での売買には、証券会社が独自に定める売買委託手数料がかかり、約定金額とは別にご負担いただきます。（取扱会社ごとに手数料率が異なりますので、その上限額を表示することができません。）

保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、以下の通り運用管理費用（信託報酬）がかかります。

- ・グローバルX US テック・トップ 20 ETF【2244】：年率0.4125%（税込）
- ・グローバルX 革新的優良企業 ETF【178A】：年率0.4125%（税込）
- ・グローバルX NASDAQ100・カバード・コールETF【QYLD】：年率0.61%（税込）
- ・グローバルX インド・トップ 10+ ETF【188A】：年率0.4125%（税込）

※その他の費用・手数料としては、組入有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。

- ※ 「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託および上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。

【商号等】

大和アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 352 号

【加入協会】

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0~3.3% (税込)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大33,000円 をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただけます。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~1.98% (税込)	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約55円 をご負担いただけます。
	その他の費用・手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和アセットマネジメントが運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。ファンド・オブ・ファンズでは、ファンドが投資対象とする投資信託の運用管理費用等を別途ご負担いただけます。また投資信託によっては、運用実績に応じた報酬や換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドに関するお電話でのお問い合わせ

☎0120-106212

(受付時間：営業日 9：00～17：00)

※お客様のお取引状況・その他口座内容に関するご照会はお取引先の銀行、証券会社等の金融機関にお問合わせください。

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。